

文化遺産保存公開日誌抄

平成24年4月1日～平成25年3月31日

平成24年

4. 6 資料受領(東1丁目)
4. 9 民具資料館見学者対応
4. 11 県立近代美術館 建物調査立会(中3丁目)
4. 12 民具資料館展示替え
4. 17 資料受領(茨城県小美玉市王里古文書調査研究会:市役所)
4. 17 東部地区文化財担当委員会民俗部会(宮代町郷土資料館)
4. 27 民具資料館展示替え
5. 1 民具資料等受領作業(座繰などの洗浄)
5. 9 民具資料等受領作業
5. 10 税務課和紙公園の受領
- 5.1-15 市内文化財案内(川口市観光物産協会)
5. 17 和紙公園修復打合せ(資料室)
5. 18 東部地区文化財担当委員会(春日部市庄和庁舎)
5. 25 東部地区文化財担当委員会第1回例会(行田市)
5. 28 歴史的公文書収集
5. 29 歴史的公文書収集(都市計画決定図書移管)
5. 30 埼玉県文化財保護協会評議員会(本庄市)
5. 31 歴史的公文書収集
- 民具資料館管理業務・展示替え
6. 1 平成24年度移管分歴史的公文書データ入力
6. 1 市指定文化財権現堂地蔵修復給排水対策検討用温湿度調査計測器設置
6. 4 歴史的公文書整理作業
6. 5 民具資料館管理業務
6. 6 歴史的公文書整理作業
6. 7 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会総会(久喜市)
6. 11 民具資料館整理作業
6. 13 資料閲覧者対応(資料室)
6. 15 歴史的公文書収集・評価選別と受入れ作業
- 6.18-19 歴史的公文書収集・評価選別と受入れ作業
6. 20 民具資料館屋根修繕
6. 21 歴史的公文書収集
6. 22 東部地区文化財担当委員会第2回例会(蓮田市)
7. 1 市指定文化財高須賀大杉ばやし調査(高須賀)
- 7.4-6 西中学校職業体験学習受入れ
7. 10 埋蔵文化財調査(下川崎字前)
- 民具資料館見学者対応(クラブ幸手)
7. 12 民具資料館展示替え
7. 15 市指定文化財千塚ささら獅子舞・松石ささら獅子舞調査(千塚・松石)
7. 17 資料返却調整(千塚)
7. 18 東部地区文化財担当委員会民俗部会(宮代町郷土資料館)
7. 19 絵馬師資料調査対応(資料室)
7. 21 権現堂地蔵文化財説明(桜堤保存会研修会)
7. 23 資料閲覧者対応(資料室)
7. 25 資料閲覧者対応(資料室)
- 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会第7次専門研究委員会(さいたま市)
- 2 絵馬関係調査(西関宿)
- 3 教員初任者研修受入(民具資料館)・民具資料館展示替え
8. 5 上戸の蛇打ち記録調査(戸島)
8. 6 市内文化財めぐり案内(幸手市教育委員会)
- 民具資料館消防点検
- 8.8-9 教職員5年次研修受入(民具資料館・資料室)
8. 13 上戸の蛇引き記録調査(戸島)
8. 15 民具資料館展示替え
8. 16 民具資料館展示資料選択(資料室)
8. 18 第10回市史講座①(市役所)
8. 21 民具資料館特別公開準備作業
8. 23 民具資料館特別公開準備作業
- 8.24-26 民具資料館特別公開
8. 28 東部地区文化財担当委員会民俗部会(宮代町郷土資料館)
8. 30 県立権現堂公園第3公園整備懇談会(市役所)
9. 1 第10回市史講座②(市役所)
9. 6 資料閲覧者対応(資料室)
9. 10 絵馬調査調整(中2丁目)
- 資料受領(東中学校)
9. 11 資料受領(老人福祉センター)
9. 20 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会第7次専門研究委員会(春日部市)



高須賀大杉ばやし調査



千塚ささら獅子舞調査



松石ささら獅子舞調査



上戸の蛇打ち記録調査



民具資料館特別公開

9. 28 東部地区文化財担当委員会第3回例会(松伏町)
10. 4 植野地原遺跡現地見学会打合せ(植野地)
- 登録文化財岸本家住宅主屋説明(中2丁目)
10. 5 東部地区文化財担当委員会民俗部会(宮代町郷土資料館)
10. 9 埋蔵文化財調査(松石字東)
10. 11 幸手中学校職業体験学習受入れ(民具資料館)
10. 13 埼玉県埋蔵文化財調査事業団遺跡見学会(植野地原遺跡)
10. 15 資料閲覧者対応(資料室)
10. 19 民具資料館見学者(幸手小学校)
10. 22 文化財保護審議会(市役所)
10. 24 民具資料館見学者(権現堂川小学校)
10. 25 資料借用者対応(資料室)
10. 26 埋蔵文化財調査(植野地字古堤西)
- 11.3-4 幸手市文化祭の幸手写真展開催(アスカル幸手)
11. 6 民具資料館見学者(みえ小学校)
11. 7 県立権現堂公園第3公園整備懇談会(市役所)
- 市指定文化財マリア地蔵管理施設関係現場確認調査(権現堂)
11. 8 民具資料館見学者(上高野小学校)
- 11.9-11 民具資料館一般公開
11. 13 埼玉県県立総合文化センター(市役所)
- 古文書資料関係打合せ(上吉羽)
11. 20 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会第7次専門研究委員会(三芳町)
11. 22 東部地区文化財担当委員会第4回例会(宮代町)
11. 29 資料閲覧者対応(資料室)
11. 30 埋蔵文化財調査(円蔵内上字)
12. 5 資料調査(権現堂)
12. 12 古文書資料関係打合せ(上吉羽)
12. 13 新聞社取材対応(市役所)
12. 17 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会第7次専門研究委員会(行田市)
12. 18 資料受領(市役所)
12. 19 県立権現堂公園第3公園整備懇談会(市役所)
12. 20 資料受領(市役所)



幸手市文化祭の幸手写真展開催(アスカル幸手)

平成25年

1. 16 市内文化財案内(市街地)
1. 21 久喜工業高校インターンシップ受入れ(資料室)
1. 23 文化財テレビ取材立会(外国府間)
- 東部地区文化財担当委員会民俗部会(宮代町郷土資料館)
2. 4 民具資料館消防点検
2. 7 民具資料館管理業務
2. 8 民具資料館見学者(八代小学校)
2. 12 民具資料館貸出(権現堂川小学校)
2. 14 文化財レスキュー防災研修会(さいたま市)
2. 15 東部地区文化財担当委員会民俗部会(宮代町郷土資料館)
2. 21 民具資料館管理業務
2. 22 被災文化財救出委員会検討会(東京都台東区)
- 東部地区文化財担当委員会第5回例会(羽生市)
- 民具資料館見学者対応(個人)
2. 26 市指定文化財新規指定意向確認調査(市内)
3. 1 民具資料館見学者対応(個人)
- 3.1-5 植野地北遺跡地内県試掘調査立会(植野地)
3. 11 文化財保護審議会(市役所)
3. 15 市史講座講師打合せ(茨城県水戸市)
3. 19 東部地区文化財担当委員会民俗部会(宮代町郷土資料館)
3. 21 資料調査対応(市役所)
3. 25 市史講座講師打合せ(東京都墨田区)



民具資料館見学者(八代小学校)



植野地北遺跡地内県試掘調査立会

幸手市文化遺産だより 第11号

平成26年3月1日発行

編集: 幸手市教育委員会 社会教育課
〒340-0192 幸手市東4-6-8
TEL 0480-43-1111 内線644
発行: 幸手市教育委員会



幸手市文化遺産だより



VOL.11

● 幸手ニュース ー 民主社会の訪れが遺した文化遺産ー

1

『幸手ニュース』とは？

『幸手ニュース』は、昭和25年(1950)3月の第1号の発行から昭和29年(1954)10月までの4年7か月間に通算で第51号、さらに2号の号外を含めて合計53回発行されました。

この時期は、昭和29年から始まる市町村合併以前の旧幸手町の時代にあたります。現在市役所が毎月発行している『広報さって』の前身となる広報紙ですが、当時は幸手町公民館が編集発行したことに大きな特徴があります。

戦後の民主社会の到来を期に、自主的で自由な言論報道の機関紙として、明るい幸手のまちづくりに尽くした広報紙がこの『幸手ニュース』なのです。

今回は、この『幸手ニュース』に掲載された記事の見出しを年表にまとめてご紹介いたします。そこから見えるのは、戦争から平和へと移り変わる時代を反映し、希望と期待があふれるいきいきとした幸手町民の姿です。



記事の見出しが語る昭和史年表 -from 1950~to 1954-

昭和25年 1950

- 6月 幸手町に街路灯がついた〔町全商店街に百数十個の街路灯がついて町が明るくなった〕
- 6月24日 町道改修工事着手(中町〜牛村)〜良くなる町道
- 7月3日 赤痢患者20名を超ゆ(猛威振う悪疫)
- 7月14日 **幸手八坂神社の祭礼(3万人の人波)**
7月14、15日に最高潮に達した幸手八坂神社の祭礼は、各町内それぞれ山車に演芸に独特の味を加えて3万以上の人出呼び、堤町から鷺宮町から遊覧バスでの見学等もあって、町内が破れんばかりの賑やかさであった。お祭りに付きものの紛争もごくわずか、で、先ず無事に終了することができた。
- 10月1日 国勢調査(幸手の人口判る。世帯数1,643戸、男人口4,099人、女人口4,427人)
- 10月15日 第3回町民運動会(全町を沸かせた運動会〜戦後初めての国旗掲揚)
- 12月24日 **農業普及祭(見事な出品に挙がる歓声)〜(25日)**
幸手地区農業改良委員会委員の努力により、農業普及祭が華々しく挙行された。町商工会寄贈による数発の花火は近隣の町村よりの出足と呼んだ。また品評会は、開場と同時に詰めかけた観客者によって売却され、午前10時にはほとんどが売りつくされた。

年表の記事は原文の雰囲気を残すよう配慮しながら要約しています。



昭和26年 1951

- 1月 書初句会〔「若草」に於ては、元旦を祝した書初句会を開催〕
- 1月14日 全国のご自慢東武地区予選〔3つの鐘鳴れどエチケット知らぬ聴衆〕
- 1月15日 **第1回成人の日祝典挙行**
この日満20歳を迎えた青年男女約150名に対し、公民館では盛大な記念祝典を挙げた。
- 2月11日 消防団査閲(寒風ついて猛訓練)
- 4月8日 **花まつり(数万人集まれど・・・人、人、ただ人の波)〜(15日)**
準備の都合から最初予定された仮装大会は行われなかったが、近隣町村の農家の休日のため、東京方向からの客を交えて戦後初めての人で、堤は舞台を中心に黒く、赤く埋め尽くされた。
- 4月23日 **新記録の町議選**
投票者の出足は良く、遂に締切りの午後6時には97.1%という幸手町始まって以来の投票率を示した。翌24日午前8時より開始された開票は、公民館の内外に詰めかけた押すな押すな観客者群で埋まり、開票係員の手で満き1票の山が築かれていった。
- 6月1日 第1次国道東側幹線下水の応急処置工事着手
- 7月1日 工場各種団体対抗ソフトボール大会
- 7月21日 **みんな明るくラジオ体操**
公民館では一般町民の要望に応え、今月21日から始まる子供の夏休みを利用し、毎朝6時から小学校校庭でこれを実施することに決定した。その後、会場数を増やして、幸手劇場前、岡中青物店横、川崎ラジオ店前及び中学校、小学校で行われている。
- 8月1日 農業委員会新発足
- 8月5日 幸手町警察維持に関する住民投票
- 10月 町立幸手図書館に県立埼玉図書館幸手分館が併置される
- 11月 **第1回「東京青森間駅伝競走」(駅伝の賑わい)**
古河から岩槻への中継所として選定された幸手町は、中継地点の幸手警察前を中心に幸手堤から上高野に至る沿道を応援と観衆の山で埋めた。
郷土の名誉を双肩に担い全身汗の塊りとなって飛び込んでくるランナーを迎え、脱兎の如く飛び出す走者に拍手と歓声を送った。



昭和27年 1952

- 1月27日 **第1回埼葛駅伝競走**
中学校の部では参加34チーム中、優勝候補とされていた吉田中が期待どおり1位となり、6位上高野中、9位幸手との順となった。
- 5月3日 **講和条約発効・憲法施行5周年記念式典(喜びの記念行事)**
午前8時から、幼稚園、小学校、中学校の生徒たちによる旗行列は全町をねり歩き、終戦後の新しい子供も交るこの行列があげる歓声、町の大人たちは胸迫る感を顔に表わし見送っていた。



6月28日

夏はあんなさまから

夏祭りのトップを切る大杉神社の祭礼は、早朝からワッショイワッショイの声もましく神輿を担ぎ、全町を練り回って町の人々に「夏来る」を耳から吹き込んだ。



8月14日

納涼夏の踊り大会(夏の両横綱!!踊りと相撲の盛況)〜(16日)

9月25日

慰霊祭復活す(晴れて冥福を希う遺族たち)

12月25日

「百万円の福引大売出し」 新生幸手商工会(商工会売出し大成功)

新生幸手商工会の大売出しでは「何でもあって安い幸手」の宣伝を着々固めてふたを開けたが、初日曇天の寒さに一寸足が止まっただけで、福引所の前は長蛇の列を並べて大成功裡に終了した。
近隣の商店界でも売出しを行ったところは多かったが、何れも幸手商工会の蛇の目ミシン、山口の自転車に圧倒された模様である。



昭和28年 1953

2月8日

消防団査閲(力強い防火陣〜赤と青の水 査閲終わる)

2月

公民館主催羽根つき大会

試合開始頃から吹き始めた風に悩まされながら熱戦を展開、振りそでや日本髪を振舞せた。



2月20日

テレビ初登場(久喜町の野口堂の前は黒山の人の群れ)
幸中校歌完成す(学芸会において発表)

4月

30のネオン先ず点灯

商工会のネオンサイン設置は着々進展して、第1回30店舗の店頭を近く飾ることになった。町が次第に明るくなっていく効果は大きいといわれている。



6月

「幸手音頭」募集中

8月14日

第4回納涼盆踊り(〜16日)

10月12日

小学校増築成る

クリーム色あざやかに、幸小の新校舎が完成。23日開催の運動会で、まず父兄たちにお目見えする。生徒から募集した標語の1等入選作は「新しい校舎見ながら運動会」。



11月

桜堤県下観光30選入選

11月22日

火葬場使用開始

6ヶ町村組合経営による火葬場は22日、関係者を集めて落成式を挙行。外観、内装とも見違える程の完成を示した。



11月30日

火災予防週間〜消防デモ(6本筒の威力!)

火災予防週間中の行事として、町消防団では新車3台を連ねて街を練りデモ行進を行った。統制された美と、一糸乱れざる正と、力強い協力が織りなす3本筒6本筒は、町民に大きな安心感を与えた。



昭和29年 1954

2月

商工会 従業員慰安演芸会を小学校講堂で開催する

3月

県道工事すむ

冷害対策の救済土木工事事業として県が施工中の幸手境線県道(中新田)は、拡張がさ上げがほとんど終わりに近づき仕上げの砂利敷を行って完了するが、見違えるように立派な道路になったので、茨城からのお客さんが一段と増すことであろうと期待されている。



3月

駅前県道舗装(駅前から助町に至る全線が美しく改装)

4月4日

桜堤人で埋まる「民謡踊りの競演」

陽気が珍しい程暖かく、保存会と商工会で計画した桜まつりの初日、4日の桜堤開きが花の真っ盛りという訳で、せっかく計画した演芸会をやる頃の11日は真夜中。立派に育った桜を見るには惜しかった程。街は桜の道花と「桜まつり」の提灯が揺れて1升瓶をぶら下げた人々が4号国道を連なり、幸手のサクラは年々復活しつつあることを物語っている。



5月

埼玉花くらべの東の閨脇に「行幸堤の桜」入選

5月24日

町村合併促進委員会発足 第1回合併公民館で開催

6月

国道の玄界灘解消へ(4号国道舗装改修工事決定す)

7月23日

新国道の測量始まる(先ず平面図の作成から)

8月

合併の目標11月3日と決まる(幸手市も実現の可能性)

11月3日

幸手町発足(新町名は幸手町、町長職務執行者は殿塚町長と決まる)

幸手町 行幸村 上高野村 権現堂川村 吉田村の大同団結なる

町民の噂に上り始め5月頃から本格的な動きを見せていた「町村合併」は幾度かの構想を凝たのち、まず第1段階として上記1町4ヶ村の合併が去る10月8日関係町村の議会の議決を経て県知事に申請を行い、審査が行われ11月3日から新たに幸手町として発足する事となった。